

指定管理者による公の施設の管理運営状況(令和4年度分)

施設名	群馬県青少年会館	所管課	教育委員会生涯学習課
指定管理者名	(公財)群馬県青少年育成事業団	指定期間	5年
利用料金制	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 一部導入 <input type="checkbox"/> なし		R2.4.1 ~ R7.3.31

※利用料金制とは施設の利用に係る料金を指定管理者の収入として收受させる制度。「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設

1 施設の概要

施設所在地	前橋市荒牧町2番地12
指定管理業務内容	・群馬県青少年会館の管理及び運営 ・青少年健全育成事業の実施

2 職員の状況(令和4年4月現在)※主に指定管理業務に従事する職員数

通常(フルタイム)の職員:	7人		
短時間雇用の職員:	1人	合計:	8人

3 収支の状況(令和4年度決算額)

(円)

収入		支出	
指定管理料	67,773,000	人件費	47,096,137
利用料収入	1,644,342	委託料	4,454,133
その他(事業参加者負担金収入)	62,000	光熱水費	6,557,391
自主事業収入	979,678	租税公課費	4,725,619
その他	18,602	その他(管理運営費等)	6,664,664
		自主事業支出	979,678
収入合計	70,477,622	支出合計	70,477,622

※指定管理者の指定管理業務等及び自主事業に係る収支を記入(指定管理者団体全体の収支ではない。)

4 利用の状況

	令和4年度(実績)	(参考)令和3年度(実績)	(参考)令和2年度(実績)
①年間利用者数(人)	21,748	14,467	14,873
②使用料収入(円) (県納付額)	-	-	-
③利用料収入(円) (指定管理者收受額)	1,644,342	2,715,805	3,339,835

5 施設における実施事業の状況

事業・イベント名	開催日	参加者数	内容	参加者の感想等
子どもふれあいワークショップ	2/25	15人	【目的】子どもの居場所に関わっている(または関心のある)青年を対象に、子どもへのよりよい関わり方や距離感を学び、地域活動に積極的に関わる人材を養成する。 【内容】指導力向上を目指した講義及びワークショップ等の演習、情報交換・交流	・社会教育や体験活動の意義、その手段として身近な素材を活用できることを伝えることができ、参加者にとって有意義なプログラムを提供することができた。 ・ワークを行いながら実体験をするように学びを深めることができた。 ・子ども同士のトラブルやけんかの時の話し合いや解決法等、関わり方を学びたい。 ・子どもとのコミュニケーションの取り方、距離の取り方を高めたい。 ・自己肯定感を高める見守り方についてスキルを高めたい。
中学生・高校生交流ボランティア体験	1/28・1/29	8人	【目的】中高生にボランティア活動を学ぶ機会を設けるとともに、活動の実践を通して互いの交流を深める機会を提供する。 【内容】ボランティアに関する基礎的知識の習得、ボランティアの実践、参加者同士の交流	・普段の学校生活では、体験できない貴重な体験をすることができてよかった。また、これを機会に今後様々な活動に参加したいと思った。 ・小さい子と関わることがあまりなかったのも、とてもよい経験になった。実際、私は子どもと関わる仕事に興味があったので、将来の職業へのビジョンが明確になった。
体験活動・ボランティア活動支援センター	通年	8人	【目的】青少年及び指導者のボランティア活動に関する情報を収集し、ボランティア活動を希望する青少年等とそれを必要とする学校や青少年団体との連絡調整を行い、協働の機会を設ける。 【内容】ボランティア活動に関する情報収集と提供、活動希望者と希望者を受け入れる学校や青少年団体との連絡調整	団体創設の相談(初の事例)に関わり、これまでのネットワークを生かした支援を行うとともに、活動の場を提供することができた。
ふれあい・ゆうあい交流フェスタ	実行委員会 第1回 6/24 第2回 8/17 第3回 9/28 第4回 11/2 第5回 1/18  パネル展示 1/18から1ヶ月間	実行委員会参加者延べ34名	【目的】障がいのある人とない人がともにふれあい、ともに活動・交流する楽しさを体験するため、障がいを抱える子ども及びその保護者や支援団体、青少年団体、ボランティアと「心のバリアフリー」をテーマに活動する。 【内容】障がい児の活動を支援する団体等との連絡調整、実行委員会組織の設置、コロナ禍における「ふれあい・ゆうあい交流フェスタ」のあり方検討 ※コロナ禍における小規模開催を試みたが、感染状況を踏まえ、パネル展示のみとした。	・実行委員でフェスティバルの代案について検討を重ね、障がいのある子ども達の団体活動や青少年団体の取り組みを伝えるパネル展示を開催し、令和5年度開催に向けた足がかりができた。
親子ふれあい体験教室	7/23	24人	【目的】親子の共同作業を通して、親子や参加者のふれあいを深める。また、レクリエーションにより、参加者の交流を図る。 【内容】親子で一緒に木工作業、制作作品の紹介、参加者と青少年団体とのレクリエーションによる交流	・普段、子どもと何かを一緒に作る機会が無いので、良い経験だった。子どもが思ったよりも積極的に作っていたので、嬉しかった。 ・日頃、木材に触れる機会が少ないので、このような機会をいただき、大変有意義だった。 ・事前にアイデアを考えたものの、実際に始めると思い通りにならず難しかったが、親子で考えながら作業するのは楽しかった。

高校生写真講座	9/10	36人	<p>【目的】写真の知識や技能を高める学びを提供する。また、班活動による撮影や組写真の制作と発表を通して参加者の交流を図る。</p> <p>【内容】写真撮影を通しての交流、デジタルカメラの基礎知識・技術の習得、グループワークによる組写真の制作</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段は個人活動が多いため、仲間と協力する経験は貴重だった。</li> <li>・組写真のテーマを決めることにより、統一感を出すだけでなく、作品のイメージや物語をつくることもできていることに感動した。</li> <li>・自分たちでは気付くことができない視点からアドバイスを頂き、撮影技術の向上につながると感じた。</li> </ul>
青少年団体活動支援事業	通年	<p>【宿題お助け隊】 39人</p> <p>【おやこで茶道教室】 32人</p> <p>【君の飛行機はどこまで飛ぶ!?】 34人</p> <p>【ボランティアのつどい】ボランティア 30人 児童33人</p>	<p>【目的】各青少年団体と連携し、子どもの課題解決能力や社会性を育む。また、各青少年団体の特性を生かして体験活動の提供と高校生のボランティアの養成を行い、団体活動やボランティア活動の魅力を発信する。</p> <p>【内容】青少年団体の情報収集、青少年団体の事業支援、青少年団体と共催事業の開催、群青連協加盟団体に担当配置</p>	<p>【宿題お助け隊】 楽しく宿題や体験活動に取り組みめた等の意見が多かった。ボランティアとの交流が有意義だったことがうかがえる。</p> <p>【おやこで茶道教室】 親子で一緒に参加できて良かったです。息子のたてたお茶が飲めて嬉しかったです。</p> <p>【君の飛行機はどこまで飛ぶ!?】 久しぶりに大人数での活動だったが、異年齢交流は子ども達にとって良い経験になることを改めて確認できた。</p> <p>【ボランティアのつどい】 参加する子ども達のことを考えながら準備したり、事業準備の大切さを学ぶことができた。</p>
ぐんま青少年ねっと	通年	<p>【学習・ワークスペース利用者】 84人</p> <p>※5月から再開</p>	<p>【目的】Web・ブログ・SNSにより青少年会館及び、青少年健全育成事業の情報を発信する。また、会館利用者がインターネットを利用できる環境を整え、青少年の自己学習や情報収集を支援する。</p> <p>【内容】会館運営、事業開催情報の提供、Web等の管理・更新作業、事業・利用に係る通信環境、データベース等の管理と運用</p>	<p>Twitter を開設し事業と会館の様子を中心に発信するとともにFacebookとブログを年間50回以上更新した。</p>
(参考)自主事業	青少年会館友の会育成事業	<p>会員数 36名(成人、大学生、高校生)</p> <p>主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師依頼への協力</li> <li>「親子でチャレンジ！バルーンアートをつくろう」(県生涯学習センター)成人会員5名(講師等)</li> <li>・自主企画</li> <li>「クリスマスリースづくり」成人会員1名(講師)</li> <li>「ゆめすくーる2022」全4回 参加大学生会員延べ89名</li> </ul>	<p>外部講師依頼への協力「親子でチャレンジ！バルーンアートをつくろう」児童・保護者24名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子、友達で楽しい時間が過ごせた。もっといろいろな種類のバルーンを作りたい</li> <li>・自分たちの活動で親子に喜んでもらえた</li> </ul> <p>自主企画「クリスマスリースづくり」児童・保護者等8名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リースに使用する自然素材を自分で探してみたくなった</li> <li>・次回は新たな仲間を募って開催したい</li> </ul> <p>自主企画「ゆめすくーる」児童253名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生の対応が親切</li> <li>・今後も継続して欲しい</li> <li>・日程調整や企画立案でボランティア仲間とのコミュニケーションが大変だった</li> </ul>	
	地域連携協力事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライオンズクエストワークショップ 若手教員等18名</li> <li>・国立赤城青少年交流の家主催「あかぎフェスタ」へのクラフトブース出展 ブースでの対応参加児童34名</li> <li>・大学生の社会教育学習 教育学部大学生2名</li> </ul>	<p>3団体から申し込み・協力依頼あり(大学1、その他2)</p>	
	団体補助	事務局運営用補助金の交付	5団体	

## 6 利用者満足度調査等の結果及び対応状況

利用者満足度調査については、①施設利用、②青少年健全育成事業でそれぞれ実施している。

### ①施設利用

(実施期間)

通年で実施した。

(実施方法・回収率等)

施設利用団体責任者へアンケート調査を実施した。利用団体906団体から347通回答(回答率約38%)

(項目別回答集計)

- ▼性別:男性44% 女性56% 未回答0%
- ▼年代:高校生以下16% 大学生3% 20代6% 30代14% 40代20% 50代29% 60代以上12% 未回答0%
- ▼地域:前橋市内45% 市外28% 県外26% 未回答1%
- ▼利用頻度:初めて31% 週に数回1% 月に数回23% 年に数回39% ほとんど利用しない5% 未回答1%
- ▼職員の対応:満足83% まあ満足13% 普通2% やや不満1% 不満0% 未回答1%
- ▼料金設定:満足61% まあ満足17% 普通9% やや不満0% 不満12% 未回答1%
- ▼利用時間の設定:満足76% まあ満足15% 普通8% やや不満1% 不満0% 未回答0%
- ▼照明の明るさ:満足79% まあ満足14% 普通6% やや不満1% 不満0% 未回答0%
- ▼清潔度:満足67% まあ満足25% 普通6% やや不満1% 不満1% 未回答0%
- ▼使いやすさ:満足66% まあ満足26% 普通6% やや不満1% 不満1% 未回答0%
- ▼案内表示の分かりやすさ:満足77% まあ満足16% 普通6% やや不満1% 不満0% 未回答0%
- ▼安全性:満足69% まあ満足24% 普通7% やや不満0% 不満0% 未回答0%
- ▼総合的な印象:満足79% まあ満足14% 普通7% やや不満0% 不満0% わからない0% 未回答0%
- ▼交通手段:自動車86%、公共交通機関2%、自転車2%、徒歩1%、その他3%、未回答6%
- ▼知ったきっかけ:会館HP 22%、リーフレット5%、事業案内1%、新聞0%、知人39%、その他29%、未回答4%
- ▼利用目的:会議室45%、宿泊31%、主催事業参加1%、その他23%
- ▼利用する際の手続き・申請方法について:便利66%、普通29%、不便0%、未回答5%
- ▼また利用したいか:利用したい96%、どちらともいえない4%、利用しない0%、未回答0%

(利用者からの意見等)

- ・職員の方が大変親切で本当にありがたかった。
- ・公営とは思えない満足度の高さだった。
- ・シーツが部屋に人数分入れてあり、使いやすかった。
- ・洗濯機と乾燥機が使えて、助かった。
- ・歌ったり、楽器を演奏できる部屋が音楽室しかないのは難あり。

(調査結果分析)

総合的な印象では、「満足」と「まあ満足」を合わせて93%、さらに「また利用したい」との回答が96%と高く、利用者から満足度の高い評価を得ている。

(調査結果への対応状況)

(要望)会議室でWi-Fiが使えれば更に便利である。

(対応)大会議室、中会議室、小会議室、多目的学習室にWi-Fiを設置した。

(要望)冷蔵庫があまり冷えていなかった。

(対応)外気温が高温だったことが要因と分析する。エアコンの温度設定を下げ、2台並んでいる冷蔵庫の間隔を離した。

(要望)布団の中に割り箸があり、不快だった。

(対応)レストランが使用できないため、宿泊室で飲食する機会が増えていることが要因と思われる。オリエンテーション等で注意喚起した。

(要望)食堂が利用できるとよかったと思う。

(対応)朝食、夕食が配達可能な業者のリストを作成し、予約受付時とWebで案内した。また、空き会議室等を調整し、食事会場として利用してもらった。

## ②青少年健全育成事業

### (実施期間)

事業後にアンケートを実施した。

### (実施方法・回収率等)

事業終了時にアンケート用紙を配布して記入してもらった。参加者、共催者スタッフ、ボランティア352人から回答(回答率100%)

### (項目別回答集計)

各事業毎に、感想・応募動機・要望等についての設問を設けて集計し、結果分析を行っている。

### (利用者からの意見等)

- ・高校生になってから、ボランティア活動をやりたと思っていたが、コロナの影響でなかなか募集がない中、やっと見つけることができた。(中学生・高校生交流ボランティア体験)
- ・作業に入る前にレクリエーション、完成後の撮影コーナーがあり、ワークショップとして充実していた。丁寧に教えていただき、ありがたい。(親子ふれあい体験教室)
- ・2校連合班で初めて会った人と協力した撮影活動は、はじめは不安だったが交流を深められてよかった。(高校生写真講座)
- ・最初はあまり会話が續かない子でも、根気強く話しかけているとだんだん心を開いてくれて自分から話してくれるようになったので、それが一番嬉しかった(夏休み宿題お助け隊 高校生ボランティア)
- ・お母さんとお茶をつくったのはとても楽しかったし、最初はお茶が苦手だったけど、お母さんがいれてくれたお茶はおいしかったです。(おやこで茶道教室 参加児童)

### (調査結果分析)

- ・上記の「利用者からの意見等」にあるように、どの事業に対しても参加者の満足度が高いことが伺える。
- ・アンケートの実施結果は県指定様式の事業報告書に集約し、次年度の事業内容に反映している。

### (調査結果への対応状況)

- ・中学生・高校生交流ボランティア体験:新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、日程およびプログラムを変更して実施した。新型コロナの影響により、ボランティア活動の機会が減少傾向である中、ボランティア活動を望む中高生のニーズに応えることができた。
- ・夏休み宿題お助け隊:ボランティア養成として、高校生ボランティアを募集し、宿題の支援と体験活動の補助を行った。ボランティアには丁寧な事前研修を行うことにより、不安を期待に変えた上で活動に取り組むことができた。

### (その他苦情・要望等及びその対応状況)

なし

7 管理運営状況の評価 (A:優良、B:良好、C:要努力、D:要改善)

評価項目	総合評価	評価の考え方	評価できる事項及び改善すべき課題
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画に基づき青少年健全育成事業に取り組み、利用者の満足度も高く、良好な管理運営状況である。</li> <li>・青少年健全育成事業については改善が見られるものの、今一度、「青少年会館」という施設に求められる役割・ニーズに立ち戻り、時代に即した事業を取捨選択して実施するとともに、新たな事業の企画・立案にも注力して、さらなる経営改善・利用者確保に努めていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■評価できる事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化が進む中、施設の維持管理に努め、清潔で快適な状態を維持している。</li> <li>・利用者アンケートにおいて職員の対応への評価が高い(満足:83%)。「また利用したい」との回答率は96%にのぼる。</li> </ul> </li> <li>■改善すべき課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度の利用者数は、改善がみられるものの、コロナ禍以前と比較するとまだ少ない状況にある。</li> <li>・青少年健全育成事業については、事業内容の固定化も散見されるが、令和4年度には新規事業(「目指せ!ギネス記録～君の飛行機はどこまで飛ぶ!?～」、「おやこで茶道教室」)を企画して実施する等改善が見られた。さらなる改善を期待したい。</li> </ul> </li> </ul>

(個別項目ごとの評価)

評価項目	評価
平等利用の確保	A
サービスの提供内容	B
管理費用の執行状況	A
管理運営体制	B
法令遵守等	A
労働条件評価の実施	有

評価項目	評価
利用者対応	A
地域貢献	B
環境問題への取組	B
防災対策及び緊急時の対応	A
個人情報保護及び情報公開	A

(参考) 指定管理者の自己評価及び評価委員会の年度評価結果

	総合評価	評価の考え方
指定管理者の自己評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響が残っていたが、サービス向上、広報活動の充実等により、年間利用者数は、前年度対比1.5倍に増加した。</li> <li>・職員の担当業務の固定化等、管理運営体制について課題がみられるため、改善を図る必要がある。</li> </ul>
評価委員会の年度評価	B	<p>県と方向性を良くすり合わせて取り組んでいくことが必要と考えられる。改善をただ試みるだけでなく、なぜ改善が必要なのかを考えてより向上していくことに期待する。</p>

## 令和6年度採用 群馬県公立学校教員選考試験合格者状況

学校人事課

### 1 試験日

#### (1)第1次選考試験

令和5年7月9日(日)

#### (2)第2次選考試験

##### ①小学校・中学校教員、養護教員

実技(中学校教員のうち音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語):令和5年8月20日(日)

面接:令和5年8月23日(水)～30日(水)

##### ②高等学校教員、特別支援学校教員

実技(芸術・保健体育・英語):令和5年8月20日(日)

面接:令和5年8月31日(木)、9月1日(金)～4日(月)

### 2 受験状況

#### (1)全体の受験状況

区分	採用予定 人	第1次選考		第2次選考		倍率 A/B
		受験者 A 人	合格者 人	受験者 人	合格者 B 人	
小学校 教員	350程度	430	234	232	157	2.7
	(385)	(190)	(188)	(125)	(3.1)	
中学校 教員	(330程度)	606	303	300	195	3.1
	(666)	(311)	(307)	(205)	(3.2)	
小計	350程度	1,036	537	532	352	2.9
	(330程度)	(1,051)	(501)	(495)	(330)	(3.2)
高等学校 教員	75程度	420	191	187	78	5.4
	(55程度)	(416)	(126)	(124)	(55)	(7.6)
特別支援 学校教員	45程度	146	72	70	45	3.2
	(50程度)	(142)	(76)	(76)	(50)	(2.8)
養護教員	23程度	123	41	40	23	5.3
	(25程度)	(108)	(48)	(48)	(25)	(4.3)
障害者 特別選考	5程度	2	0	0	0	0.0
	(5程度)	(7)	(3)	(3)	(2)	(3.5)
総計	498程度	1,727	841	829	498	3.5
	(465程度)	(1,724)	(754)	(746)	(462)	(3.7)

※( )内は、令和5年度採用選考試験の実績を示す。

(2) 中学校・高等学校教員 教科別受験状況

校種	教科	第1次選考		第2次選考		倍率 A/B
		受験者 A 人	合格者 人	受験者 人	合格者 B 人	
中学校 教員	国語	64	45	45	30	2.1
	社会	105	37	37	24	4.4
	数学	69	41	40	25	2.8
	理科	62	41	40	27	2.3
	音楽	24	15	15	12	2.0
	美術	17	12	12	8	2.1
	保健体育	174	46	46	25	7.0
	技術	13	9	9	6	2.2
	家庭	12	9	9	6	2.0
	英語	66	48	47	32	2.1
中学校教員 計		606	303	300	195	3.1
高等学校 教員	国語	38	21	19	10	3.8
	地理歴史	57	22	22	8	7.1
	公民	22	6	6	2	11.0
	数学	50	22	22	10	5.0
	理科	48	20	20	7	6.9
	芸術	15	9	9	3	5.0
	保健体育	77	17	17	7	11.0
	福祉	2	2	2	1	2.0
	情報	7	5	5	2	3.5
	農業	14	10	10	5	2.8
	工業	21	15	15	6	3.5
	商業	25	11	11	3	8.3
	家庭	11	9	7	3	3.7
	英語	33	22	22	11	3.0
高等学校 計		420	191	187	78	5.4

3 特別選考合格者

大学等推薦特別選考	71 (実施なし)	スポーツ特別選考	2 (3)
英語科教員特別選考	3 (3)	社会人特別選考	0 (0)
臨時的任用教員等経験者特別選考	140 (113)	現職教員特別選考	15 (15)
障害者特別選考	0 (2)		

※1 障害者特別選考以外の数は、「2 受験状況」の第2次試験合格者(B)の内数となる。

※2 ( )内は、令和5年度採用選考試験の実績を示す。



## 令和7年度採用群馬県公立学校教員選考試験における 大学3年生等受験の導入について

### 1. 試験の概要

#### <試験日>

一般選考や特別選考と同日程で実施する。

#### <対象となる校種>

小学校・中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員、養護教員

#### <試験科目>

第1次選考の「一般教養・教職に関する科目」を受験し、合格となった者は次年度以降の第1次選考において「専門科目」を受験する。

### 2. 期待される効果

- ・翌年の試験で一部免除になる受験生は、専門教科の勉強や教育実習に専念することができ、優秀な人材の確保につながる。
- ・就職活動の開始よりも早い時期に受験機会を提供することにより、大学2年生や大学3年生の段階から、教員採用試験の受験や教職に就くことを考えるきっかけをつくることできる。

令和5年10月20日(金)  
 (教) 高校教育課 高校教育改革推進係  
 担当：須田 027-226-4644(内線4639)  
 (教) 特別支援教育課 企画係  
 担当：池田 027-226-4651(内線4652)

## 令和5年度 第1回中学校等卒業見込者進路希望調査結果

I 調査対象 令和6年3月に、県内の国・公・私立中学校及び特別支援学校中学部を卒業する見込みの者

II 調査基準日 令和5年10月2日現在

### III 調査結果

#### 1 中学校等の卒業見込者の進路希望状況

令和6年3月の卒業見込者は、令和5年10月2日現在、17,104人である。  
 このうち、通信制を除く高等学校等進学希望者数は16,267人であり、進学希望率は95.11%である。(\*)

区 分			今回調査(R05.10.2)		前年度調査(R04.10.3)		増減		
			人数※	構成比%	人数	構成比%	人数	ポイント	
中学校等の卒業見込者数			17,104	100.00	17,145	100.00	-41	0.00	
高等学校等進学希望者数			16,267	95.11	16,418	95.76	-151	-0.65	
内 訳	全 日 制	県 内	公立高校	12,267	71.72	12,324	71.88	-57	-0.16
			私立高校	2,332	13.63	2,489	14.52	-157	-0.89
			計	14,599	85.35	14,813	86.40	-214	-1.05
		県外国・公・私立高校	694	4.06	694	4.05	0	0.01	
	県内外フレックススクール		305	(7)	250	1.46	55	0.32	
	計		15,598	(701)	15,757	91.20	-159	-0.70	
	県内外高等学校定時制		87	(14)	73	0.43	14	0.08	
	県内外工業高等専門学校		231	(13)	278	1.62	-47	-0.27	
	県内外特別支援学校高等部		351	(3)	310	1.81	41	0.24	
	県内外高等学校通信制		77	0.45	727	4.24	110	0.65	
上記以外 (広域通信制高校等)		543	3.17						
その他希望者数 (専修・各種学校、就職等)			217	1.27					

\*通信制を含む高等学校等進学希望者数は16,887人であり、進学希望率は98.73%である。

※( )内の数値は県外希望者数(内数)

#### 2 県内公立高等学校(全日制・フレックススクール)64校への進学希望状況

##### (1) 学科別入学希望状況

区 分	学校数	募集定員		入学希望者		倍率	前年度調査 (R04.10.3)
		人数	構成比%	人数	構成比%		
普通科	※42	6,940	59.03	7,532	60.44	1.09	1.12
農業科	※6	720	6.12	759	6.09	1.05	0.97
工業科	※9	1,400	11.91	1,303	10.46	0.93	1.01
商業科	7	1,385	11.78	1,555	12.48	1.12	0.93
福祉科	1	40	0.34	19	0.15	0.48	0.60
理数・自然環境科	※2	112	0.95	135	1.08	1.21	0.85
スポーツ科	1	40	0.34	37	0.30	0.93	0.80
芸術科	1	40	0.34	32	0.26	0.80	0.60
総合学科	6	1,080	9.19	1,090	8.75	1.01	0.95
合 計	75	11,757	100.00	12,462	100.00	1.06	1.05

※前橋西高校国際科、伊勢崎高校グローバルコミュニケーション科、藤岡中央高校理数科は、くくり募集のため、普通科に含まれている。また、富岡実業高校電子機械科は、くくり募集のため、農業科に含まれている。

## (2) 希望倍率の推移

年度	10月1日調査※1	12月1日調査※2	1月10日調査
5	1.20	1.12	1.07
6	1.22	1.10	1.07
7	1.21	1.13	1.09
8	1.20	1.12	—
9	1.20	—	1.10
10	1.22	—	1.12
11	—	1.14	—
12	—	1.14	—
13	—	1.15	—
14	—	1.16	—
15	—	1.16	—
16	—	1.12	—
17	—	1.13	—
18	1.20	1.14	—
19	1.18	1.13	—
20	1.18	1.13	—
21	1.20	1.15	—
22	1.18	1.11	—
23	1.19	1.13	—
24	1.17	1.12	—
25	1.16	1.10	—
26	1.16	1.10	—
27	1.18	1.11	—
28	1.16	1.11	—
29	1.15	1.09	—
30	1.14	1.07	—
令和元	1.13	1.06	—
令和2	1.10	1.03	—
令和3	1.08	1.01	—
令和4	1.05	1.01	—
令和5	1.06	—	—

## (3) 入学希望者が募集定員以上の学校数

年度	10月1日調査※1	12月1日調査※2	1月10日調査
5	41	44	43
6	45	42	43
7	45	52	51
8	46	52	—
9	42	—	44
10	44	—	52
11	—	46/73	—
12	—	49/73	—
13	—	42/73	—
14	—	45/73	—
15	—	49/73	—
16	—	50/70	—
17	—	52/69	—
18	45/69	46/69	—
19	46/69	47/69	—
20	44/69	47/69	—
21	45/69	50/69	—
22	45/69	41/69	—
23	44/68	46/68	—
24	41/68	40/68	—
25	39/68	37/68	—
26	42/68	40/68	—
27	42/68	43/68	—
28	40/68	38/68	—
29	36/66	40/66	—
30	39/66	39/66	—
令和元	34/66	35/66	—
令和2	34/64	33/64	—
令和3	34/64	30/64	—
令和4	28/64	29/64	—
令和5	32/64	—	—

※1 平成18年度・平成29年度・令和5年度は10月2日調査、平成23年度・平成28年度・令和4年度は10月3日調査

※2 平成19年度・平成24年度・平成30年度は12月3日調査、平成25年度は12月2日調査

令和5年度 第1回 中学校等卒業見込者進路希望調査結果(公立高等学校全日制・フレックススクール)  
(令和5年10月2日現在)

学校名	学校別募集定員 A	学 科 ・ コ ー ス 等	性 別	学科等別募集定員 B	学科等別希望者数			学科等別倍率 C/B	学校別希望者数 D	学 校 倍 率 D/A	
					男	女	計 C				
前橋	280	普通	男	280	366	—	366	1.31	366	1.31	
前橋南	200	普通	男女	200	147	127	274	1.37	274	1.37	
前橋西	160	普通	男女	160	64	117	181	1.13	181	1.13	
		国際									
前橋女子	280	普通	女	280	—	352	352	1.26	352	1.26	
前橋東	200	総合	男女	200	98	102	200	1.00	200	1.00	
勢多農林	200	植物科学	男女	80	36	38	74	0.93	259	1.30	
		植物デザイン									
		動物科学	資源動物	男女	20	27	12	39	1.95		
			応用動物	男女	20	11	42	53	2.65		
		緑地土木	男女	40	27	1	28	0.70			
食品科学	男女	40	21	44	65	1.63					
前橋工業	240	機 械	男女	40	72	7	79	1.98	269	1.12	
		電子機械	男女	40	13	0	13	0.33			
		電 気	男女	40	25	2	27	0.68			
		電 子	男女	40	35	6	41	1.03			
		建 築	男女	40	41	19	60	1.50			
		土 木	男女	40	38	11	49	1.23			
		商 業	男女	280	299	134	433	1.55	433	1.55	
前橋清陵	160	普通 昼間部	男女	80	54	49	103	1.29	146	0.91	
		普通 夜間部	男女	80	24	19	43	0.54			
高 崎	280	普通	男	280	363	—	363	1.30	363	1.30	
高崎東	160	普通	男女	160	71	127	198	1.24	198	1.24	
高崎北	240	普通	男女	240	177	166	343	1.43	343	1.43	
榛 名	80	普通	男女	80	31	21	52	0.65	52	0.65	
高崎女子	280	普通	女	280	—	346	346	1.24	346	1.24	
吉 井	160	総合	男女	160	57	56	113	0.71	113	0.71	
高崎工業	240	機 械	男女	40	73	0	73	1.83	371	1.55	
		電 気	男女	40	58	1	59	1.48			
		情報技術	男女	40	78	13	91	2.28			
		建 築	男女	40	26	19	45	1.13			
		土 木	男女	40	53	10	63	1.58			
		工業化学	男女	40	23	17	40	1.00			
		商 業	男女	280	162	164	326	1.16	326	1.16	
高崎商業	280	グローバルビジネス	男女	280	162	164	326	1.16	326	1.16	
		会計ビジネス									
		情報ビジネス									
		総合ビジネス									
桐 生	320	普通	男女	240	180	176	356	1.48	475	1.48	
		理 数	男女	80	60	59	119	1.49			
桐生清桜	240	普通	男女	160	77	145	222	1.39	294	1.23	
		普通 アドバンスト探究	男女	80	28	44	72	0.90			
桐生工業	160	機 械	男女	80	59	3	62	0.78	122	0.76	
		建 設	男女	40	16	3	19	0.48			
		創造技術	電気	男女	20	19	1	20	1.00		
			染織デザイン	男女	20	3	18	21	1.05		
伊勢崎	280	普通	男女	280	188	148	336	1.20	336	1.20	
		グローバルコミュニケーション									
伊勢崎清明	200	普通	男女	200	86	199	285	1.43	285	1.43	
伊勢崎興陽	200	総合	男女	200	87	156	243	1.22	243	1.22	
伊勢崎工業	200	機 械	男女	80	90	1	91	1.14	195	0.98	
		電子機械	男女	40	32	2	34	0.85			
		電 気	男女	40	30	2	32	0.80			
		工業化学	男女	40	29	9	38	0.95			
伊勢崎商業	240	商 業	男女	240	93	84	177	0.74	177	0.74	
		会 計 情報処理									
太 田	280	普通	男	280	265	—	265	0.95	265	0.95	
太田東	240	普通	男女	240	199	133	332	1.38	332	1.38	
太田女子	240	普通	女	240	—	264	264	1.10	264	1.10	
新田暁	160	総合	男女	160	105	105	210	1.31	210	1.31	
太田工業	160	機 械	男女	120	92	3	95	0.79	130	0.81	
		電子機械									
		電気情報	男女	40	28	7	35	0.88			
太田フレックス	240	普通 I部(昼)	男女	80	49	48	97	1.21	152	0.63	
		普通 II部(昼)	男女	80	24	18	42	0.53			
		普通 III部(夜)	男女	80	8	5	13	0.16			
沼 田	120	普通	男	80	94	—	94	1.18	123	1.03	
		普通 数理科学	男	40	29	—	29	0.73			
尾 瀬	64	普通	男女	32	10	10	20	0.63	36	0.56	
		自然環境	男女	32	11	5	16	0.50			
沼田女子	120	普通	女	80	—	90	90	1.13	108	0.90	
		普通 英 数	女	40	—	18	18	0.45			
利根実業	120	生物生産	男女	80	34	41	75	0.94	99	0.83	
		グリーンライフ									
		創生工学	機 械	男女	20	18	1	19	0.95		
土 木	男女		20	5	0	5	0.25				

学校名	学校別募集定員A	学科・コース等	性別	学科等別募集定員B	学科等別希望者数			学科等別倍率C/B	学校別希望者数D	学校倍率D/A	
					男	女	計C				
館林	200	普通	男	200	134	—	134	0.67	134	0.67	
館林女子	200	普通	女	200	—	129	129	0.65	129	0.65	
渋川	200	普通	男	200	155	—	155	0.78	155	0.78	
渋川女子	200	普通	女	200	—	191	191	0.96	191	0.96	
渋川青翠	160	総合	男女	160	42	75	117	0.73	117	0.73	
渋川工業	160	機械	男女	40	20	1	21	0.53	104	0.65	
		自動車	男女	40	36	1	37	0.93			
		電気	男女	40	21	0	21	0.53			
		情報システム	男女	40	24	1	25	0.63			
藤岡中央	160	普通	男女	160	62	74	136	0.85	136	0.85	
		理数									
藤岡北	120	生物生産	男女	120	36	68	104	0.87	104	0.87	
		環境土木									
		ヒューマン・サービス									
藤岡工業	120	機械	男女	120	32	3	35	0.29	35	0.29	
		電子機械									
		電気									
富岡	200	普通	男女	200	118	92	210	1.05	210	1.05	
富岡実業	120	生物生産	男女	120	67	47	114	0.95	114	0.95	
		地域産業									
		電子機械									
松井田	80	普通	男女	80	28	10	38	0.48	38	0.48	
安中総合学園	200	総合	男女	200	121	86	207	1.04	207	1.04	
大間々	120	普通	男女	120	53	73	126	1.05	126	1.05	
万場	64	普通	男女	64	8	3	11	0.17	11	0.17	
下仁田	64	普通	男女	64	5	2	7	0.11	7	0.11	
吾妻中央	200	普通	男女	80	27	37	64	0.80	141	0.71	
		生物生産	男女	40	24	20	44	1.10			
		環境工学	男女	40	12	2	14	0.35			
		福祉	男女	40	6	13	19	0.48			
長野原	64	普通	男女	64	8	9	17	0.27	17	0.27	
嬭恋	64	普通	男女	32	5	1	6	0.19	10	0.16	
		普通	男女	16	1	2	3	0.19			
		普通	男女	16	1	0	1	0.06			
玉村	80	普通	男女	80	34	33	67	0.84	67	0.84	
板倉	80	普通	男女	80	24	15	39	0.49	39	0.49	
館林商工	160	生産システム	男女	80	51	2	53	0.66	113	0.71	
		建築									
		総合ビジネス	男女	80	28	32	60	0.75			
		情報ビジネス									
西邑楽	200	普通	男女	120	83	98	181	1.51	250	1.25	
		スポーツ	男女	40	31	6	37	0.93			
		芸術	音楽	男女	20	0	4	4			0.20
			美術	男女	20	4	24	28			1.40
大泉	160	普通	男女	40	27	42	69	1.73	218	1.36	
		生物生産	男女	40	22	25	47	1.18			
		グリーンサイエンス	男女	40	21	12	33	0.83			
		食品科学	男女	40	20	49	69	1.73			
市立前橋	240	普通	男女	240	105	165	270	1.13	270	1.13	
高崎経済大学附属	280	普通	男女	245	197	264	461	1.88	493	1.76	
		普通	男女	15	3	9	12	0.80			
		普通	男女	20	8	12	20	1.00			
桐生市立商業	240	商業	男女	240	145	161	306	1.28	306	1.28	
		情報処理									
市立太田*1	157 (262)	普通	男女	(105)	—	—	—	—	209	1.33	
		商業	男女	157	77	132	209	1.33			
利根商業*2	160 (184)	普通	男女	52 (64)	16	13	29	0.56	73	0.46	
		地域経済	男女	108	26	18	44	0.41			
		情報経済		(120)							
公立全日制・フレックススクール合計	11,757 (11,886)			11,757 (11,886)	6,586	5,876	12,462	1.06	12,462	1.06	

\*1 太田市立太田高等学校の普通科(105人)は、すべて太田市立太田中学校からの内部進学者とする。また、商業科への内部進学者がいる場合は、その数を商業科の募集定員160人から減じる。

\*2 利根商業高等学校の普通科及び地域経済科は、上記の募集定員以外に各学科12人(計24人)を群馬県外から募集する。

令和5年度 第1回 中学校等卒業見込者進路希望調査結果(公立高等学校定時制)  
(令和5年10月2日現在)

学 校 名	学 校 別 募 集 定 員 A	学 科	性 別	学 科 別 募 集 定 員 B	学 科 別 希 望 者 数			学 科 別 倍 率 C/B	学 校 別 希 望 者 数 D	学 校 倍 率 D/A
					男	女	計 C			
前橋工業	80	機 械	男女	40	9	0	9	0.23	10	0.13
		建 築	男女	40	1	0	1	0.03		
高崎工業	40	工業技術	男女	40	2	1	3	0.08	3	0.08
高崎商業	40	商 業	男女	40	0	3	3	0.08	3	0.08
桐生工業	40	工業技術	男女	40	5	2	7	0.18	7	0.18
伊勢崎工業	40	工業技術	男女	40	7	3	10	0.25	10	0.25
沼 田	40	普 通	男女	40	3	3	6	0.15	6	0.15
館 林	40	普 通	男女	40	3	3	6	0.15	6	0.15
渋川工業	40	工業技術	男女	40	2	1	3	0.08	3	0.08
藤岡中央	40	普 通	男女	40	1	3	4	0.10	4	0.10
富 岡	40	普 通	男女	40	2	3	5	0.13	5	0.13
安中総合学園	40	普 通	男女	40	2	4	6	0.15	6	0.15
桐生市立商業	40	商 業	男女	40	7	3	10	0.25	10	0.25
公立定時制合計	520			520	44	29	73	0.14	73	0.14

令和5年度 第1回 中学校等卒業見込者進路希望調査結果(特別支援学校高等部)  
(令和5年10月2日現在)

学 校 名	学 校 別 募 集 定 員 A	学 科	性 別	学 科 別 募 集 定 員 B	学 科 別 希 望 者 数			学 科 別 倍 率 C/B	学 校 別 希 望 者 数 D	学 校 別 倍 率 D/A
					男	女	計 C			
盲学校	10	普 通	男女	10	1	0	1	0.10	1	0.10
聾学校	11	普 通	男女	11	4	3	7	0.64	7	0.64
		情報デザイン								
しろがね特別支援学校	14	普 通	男女	14	16	7	23	1.64	23	1.64
前橋高等特別支援学校	40	普 通	男女	8	6	7	13	1.63	36	0.90
		農業園芸	男女	8	10	0	10	1.25		
		産業工芸	男女	16	5	1	6	0.38		
		家政被服	男女	8	2	5	7	0.88		
赤城特別支援学校	8	普 通	男女	8	0	0	0	0.00	0	0.00
高崎特別支援学校	17	普 通	男女	17	11	4	15	0.88	15	0.88
高崎高等特別支援学校	48	普 通	男女	8	9	6	15	1.88	43	0.90
		生産園芸	男女	16	9	7	16	1.00		
		工芸意匠	男女	16	6	1	7	0.44		
		生活環境	男女	8	1	4	5	0.63		
二葉高等特別支援学校	20	普 通	男女	20	5	5	10	0.50	10	0.50
あさひ特別支援学校	17	普 通	男女	17	1	6	7	0.41	7	0.41
伊勢崎高等特別支援学校	30	普 通	男女	14	12	6	18	1.29	36	1.20
		産 業	男女	16	8	10	18	1.13		
太田高等特別支援学校	41	普 通	男女	17	10	6	16	0.94	43	1.05
		産 業	男女	24	19	8	27	1.13		
沼田特別支援学校	14	普 通	男女	14	1	3	4	0.29	4	0.29
館林高等特別支援学校	22	普 通	男女	14	8	8	16	1.14	24	1.09
		サービス総合	男女	8	7	1	8	1.00		
渋川特別支援学校	17	普 通	男女	17	19	8	27	1.59	27	1.59
藤岡特別支援学校	22	普 通	男女	22	10	3	13	0.59	13	0.59
富岡特別支援学校	11	普 通	男女	11	7	1	8	0.73	8	0.73
渡良瀬特別支援学校	30	普 通	男女	30	19	11	30	1.00	30	1.00
吾妻特別支援学校	11	普 通	男女	11	3	0	3	0.27	3	0.27
群大附属特別支援学校	8	普 通	男女	8	5	3	8	1.00	8	1.00
県内国・公立特別支援学校高等部 計	391			391	214	124	338	0.86	338	0.86

<参考>

学校別倍率上位5校

順位	高校名	学校倍率
1	高崎経済大学附属	1.76
2	前橋商業	1.55
2	高崎工業	1.55
4	桐生	1.48
5	高崎北	1.43
5	伊勢崎清明	1.43

大学科ごとの学科別倍率上位5位

学科名	順位	高校名	学科・コース等	性別	学科等別倍率
普通科	1	高崎経済大学附属	普通	男女	1.88
	2	大泉	普通	男女	1.73
	3	西邑楽	普通	男女	1.51
	4	桐生	普通	男女	1.48
	5	高崎北	普通	男女	1.43
	5	伊勢崎清明	普通	男女	1.43
農業科	1	勢多農林	動物科学 応用動物	男女	2.65
	2	勢多農林	動物科学 資源動物	男女	1.95
	3	大泉	食品科学	男女	1.73
	4	勢多農林	食品科学	男女	1.63
	5	大泉	生物生産	男女	1.18
工業科	1	高崎工業	情報技術	男女	2.28
	2	前橋工業	機械	男女	1.98
	3	高崎工業	機械	男女	1.83
	4	高崎工業	土木	男女	1.58
	5	前橋工業	建築	男女	1.50
商業科	1	前橋商業	商業	男女	1.55
	2	市立太田	商業	男女	1.33
	3	桐生市立商業	*商業/情報処理	男女	1.28
	4	高崎商業	*グローバルビジネス/会計ビジネス/情報ビジネス/総合ビジネス	男女	1.16
	5	館林商工	*総合ビジネス/情報ビジネス	男女	0.75

\*印はくくり募集



第29回

令和5年10月21日(土)～11月12日(日)

群馬会館  
群馬音楽センター  
高崎シティギャラリーほか

# 群馬県高等学校総合文化祭

## 想像を超える創造を、この手で

「想像を超える創造を、この手で」をテーマに、群馬県内の公立高等学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部の生徒による芸術・文化活動に関する総合的・象徴的な祭典を開催します。

第29回群馬県高等学校総合文化祭は、これまでの文化祭を基盤として、高校生の芸術・文化活動の一層の推進を図る大会とします。

### 総合開会式

10/24 (TUE)  
15:00 - 17:00

第1部 セレモニー / 第2部 専門部紹介

(アーカイブ配信 有り)

### 群馬会館から YouTubeLiveで 生配信!



配信URL <https://youtube.com/live/LOREG7bhYBK>

#### 専門部大会

##### 演劇

- ・11月3日(金・祝)～4日(土)
- ・伊勢崎市境総合文化センター
- ・演劇の上演

##### 合唱

- ・10月28日(土)
- ・群馬音楽センター
- ・発表会

##### 吹奏楽

- ・11月11日(土)
- ・群馬音楽センター
- ・選抜大会及び公開レッスン

##### 器楽・管弦楽

- ・10月28日(土)
- ・群馬音楽センター
- ・演奏発表会

##### 日本音楽

- ・11月3日(金・祝)
- ・大泉町文化おら
- ・発表会

##### 吟詠剣詩舞

- ・11月3日(金・祝)
- ・大泉町文化おら
- ・発表会

##### 郷土芸能

- ・11月12日(日)
- ・高崎市文化会館
- ・発表会

##### アーチングバンド・パトントワリング

- ・10月24日(火)
- ・群馬会館
- ・演技発表(総合開会式内)

##### 美術・工芸

- ・10月27日(金)～31日(火)
- ・高崎シティギャラリー
- ・作品展示

##### 書道

- ・10月27日(金)～11月1日(水)
- ・高崎シティギャラリー
- ・作品展示

##### 写真

- ・10月27日(金)～31日(火)
- ・高崎シティギャラリー
- ・作品展示

##### 放送

- ・11月3日(金・祝)
- ・伊勢崎市境総合文化センター
- ・アナウンス、朗読、音声・映像番組の発表

##### 囲碁

- ・11月3日(金・祝)～4日(土)
- ・県立富岡実業高校
- ・関東地区大会群馬県予選会

##### 将棋

- ・10月29日(日)、11月12日(日)
- ・県立高崎工業高校
- ・交流会および新人大会

##### 弁論

- ・書類選考による弁論大会

##### 小倉百人一首かふた

- ・10月21日(土)～22日(日)
- ・高崎アリーナ
- ・競技会

##### 新聞

- ・10月30日(月)
- ・上毛新聞社(上毛ホール)
- ・コンクール表彰式および研修会

##### 文芸

- ・10月28日(土)
- ・群馬音楽センター
- ・表彰式および交流会

##### 自然科学

- ・11月5日(日)
- ・群馬大学荒牧キャンパス
- ・研究発表

##### 青少年赤十字

- ・10月21日(土)
- ・群馬県生涯学習センター
- ・救急法

##### 軽音楽

- ・10月28日(土)～29日(日)
- ・群馬会館
- ・演奏会

#### ご観覧の皆様へ

一部の専門部大会において、入場制限をさせていただきます。予めご了承ください。

- 一般観覧可
- 関係者のみ観覧可
- 書類選考

主催 第29回群馬県高等学校総合文化祭実行委員会(群馬県教育委員会、群馬県教育文化事業団、群馬県高等学校文化連盟)

後援 上毛新聞社、朝日新聞前橋総局、毎日新聞前橋支局、読売新聞東京本社前橋支局、産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、FM GUNMA、ラジオ高崎

問合せ先 第29回 群馬県高等学校総合文化祭実行委員会事務局(県立前橋女子高等学校) 電話 027-221-4188

# 令和5年度群馬県読み聞かせボランティア顕彰について

この度、令和5年度群馬県読み聞かせボランティア顕彰の対象団体を、以下の5団体に決定しました。

## 1 顕彰者（団体・個人）

団体・個人名等	活 動 内 容 等
阿部 祐子【個人】 （伊勢崎市） 活動年数：23年	○伊勢崎市内外の幼稚園や小・中・特別支援学校、公民館、児童館などでの23年間にわたる読み聞かせ活動を通して、子どもをはじめとした、様々な年齢層の方の読書活動に貢献している。 ○SNSを積極的に活用して、読み聞かせについての情報収集・発信、交流などを行い、自己研鑽に努め、活動の幅を広げ、質を高めている。
前橋市読み聞かせグループ連絡協議会【団体】 （前橋市） 代表者：生方 由紀子 活動年数：15年	○前橋子ども図書館をはじめ、各地区小学校や公民館、図書館分館等において精力的におはなし会や人形劇、講座等を開催し、多くの機関と連携し、幅広い活動を行っている。 ○外部講師による研修のほか、会員同士の交流や情報交換等も活発で、常に読み聞かせの基本や本の選定、会場の雰囲気作りなどについて研鑽を積み、子ども読書活動の推進に貢献している。
読み聞かせ ひまわり【団体】 （高崎市） 代表者：林 道子 活動年数：12年	○榛名図書館、市内小学校・児童館、高齢者教室等において読み聞かせの会を開催し、長年にわたり絵本の楽しさを次世代に伝えている。 ○読み聞かせの際には、大型絵本にこだわった企画を行ったり、パペット、手遊び、エプロンシアターなど、より楽しめる工夫を取り入れたりしている。また、小学生の読み聞かせ体験なども実施している。
本のたまご【団体】 （藤岡市） 代表者：田部井 妙子 活動年数：26年	○藤岡市立藤岡第一小学校の読み聞かせ活動を25年以上続けており、読み聞かせした本の記録を残し、一覧表にまとめて、団体内で共有するなど、読書好きの子どもを育てるために様々な工夫をしている。 ○独自の広報誌を発行し、全家庭に配付することで、家庭の読書への興味関心を高め、親子の読書活動の推進に努めている。
館林市立第一小学校 図書館ボランティア【団体】 （館林市） 代表者：平井 裕子 活動年数：21年	○館林市立第一小学校を中心に活動を行い、每学期末のボランティアと図書委員による全校読み聞かせでは、ICTの活用による一人一台端末で配信する新様式での実施を工夫している。 ○読み聞かせでは、本のタイトルの掲示、関連する植物やお面など実物を用意して、興味・関心を高める工夫をしている。

## 2 顕彰式

群馬県図書館大会において顕彰を行います。

日程：令和5年11月30日（木）

会場：群馬県立図書館

### 【参考】顕彰の目的

自主的に読み聞かせ活動を続けているボランティアの中から、地域における子どもの読書活動への貢献が顕著なボランティアを顕彰し、熱意と努力に報いるとともに、広く県下に紹介することにより、子どもの読書活動推進の一層の振興を図るために行うものです。